

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 4 年 5 月 17 日(2022.5.17)

【公開番号】特開 2020-151401(P2020-151401A)
 【公開日】令和 2 年 9 月 24 日(2020.9.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-039
 【出願番号】特願 2019-55679(P2019-55679)
 【国際特許分類】

A 63 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 315 A

A 63 F 7/02 320

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 5 月 9 日(2022.5.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の発射操作に基づいて遊技球を発射可能な発射手段と、
 予め定められた判定契機に基づいて特定判定を実行する特定判定手段と、
 前記特定判定の結果が特定結果となった場合、遊技状態を第 1 遊技状態よりも遊技者に有利な第 2 遊技状態に移行させることが可能な第 1 移行手段と、
 前記第 2 遊技状態の終了より後、前記第 1 遊技状態よりも遊技者に有利なものであって前記第 2 遊技状態とは異なる第 3 遊技状態に移行させることが可能な第 2 移行手段と、
 を備えた遊技機であって、
 前記発射手段により発射された遊技球が通過可能な特定領域が設けられており、
 遊技球が前記特定領域を通過したことを特定可能な特定手段を備え、
 前記特定手段により遊技球が前記特定領域を通過したことの特定が行われた場合又は前記特定手段により前記特定が行われたことに基づく特定事象が発生した場合、前記第 3 遊技状態よりも遊技者に不利なものであって前記第 1 遊技状態とは異なる第 4 遊技状態又は前記第 1 遊技状態に移行させることが可能な第 3 移行手段を備えていることを特徴とする遊技機。

30

【請求項 2】

前記特定領域に対応して設けられ、遊技球が前記特定領域を通過することを許容する又は許容しやすい第 1 態様と、遊技球が前記特定領域を通過することを許容しない又は前記第 1 態様よりも許容しにくい第 2 態様とに切り換わり可能な切換手段と、
 予め定められた特定契機に基づいて、前記切換手段を前記第 2 態様から前記第 1 態様とし、その後、前記第 2 態様とする切換制御を少なくとも 1 回実行する切換制御手段と、
 を備えていることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

40

【請求項 3】

遊技球が所定通過部を通過したことに基づいて前記特定契機が成立し得るように構成されており、
 前記発射手段により発射された遊技球が流下可能な遊技領域に設けられ、遊技球が入球可能な所定入球手段と、
 前記所定入球手段に遊技球が入球した場合に所定の遊技価値を付与可能な遊技価値付与手

50

段と、

を備え、

前記遊技領域において前記所定入球手段の上流側又は下流側に前記所定通過部が設けられ、前記所定入球手段に到達可能な態様で発射された遊技球が前記所定通過部に到達可能なように構成されていることを特徴とする請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

遊技球が入球可能又は入球しやすい第 1 状態と、遊技球が入球不可又は前記第 1 状態よりも入球しにくい第 2 状態とに切り換わり可能な可変入球手段と、

前記第 2 遊技状態において、前記可変入球手段を前記第 2 状態から前記第 1 状態とし、その後、前記第 2 状態とする可変入球制御を少なくとも 1 回実行する可変入球制御手段と、

10

を備え、
前記可変入球手段に到達可能な態様で発射された遊技球が前記特定領域に到達可能なように構成されていることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれかに記載の遊技機。

【請求項 5】

前記特定領域に対応して設けられ、遊技球が前記特定領域を通過することを許容する又は許容しやすい第 1 態様と、遊技球が前記特定領域を通過することを許容しない又は前記第 1 態様よりも許容しにくい第 2 態様とに切り換わり可能な切換手段と、

所定の遊技開始タイミングより後、前記切換手段が前記第 2 態様から前記第 1 態様に切り換えられる切換タイミングが第 1 タイミングとなるようにする第 1 手段と、

前記所定の遊技開始タイミングより後、前記切換タイミングが前記第 1 タイミングとは異なる第 2 タイミングとなるようにする第 2 手段と、

20

を備えていることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 のいずれかに記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、

所定の発射操作に基づいて遊技球を発射可能な発射手段と、

30

予め定められた判定契機に基づいて特定判定を実行する特定判定手段と、

前記特定判定の結果が特定結果となった場合、遊技状態を第 1 遊技状態よりも遊技者に有利な第 2 遊技状態に移行させることが可能な第 1 移行手段と、

前記第 2 遊技状態の終了より後、前記第 1 遊技状態よりも遊技者に有利なものであって前記第 2 遊技状態とは異なる第 3 遊技状態に移行させることが可能な第 2 移行手段と、

を備えた遊技機であって、

前記発射手段により発射された遊技球が通過可能な特定領域が設けられており、

遊技球が前記特定領域を通過したことを特定可能な特定手段を備え、

前記特定手段により遊技球が前記特定領域を通過したことの特定が行われた場合又は前記特定手段により前記特定が行われたことに基づく特定事象が発生した場合、前記第 3 遊技状態よりも遊技者に不利なものであって前記第 1 遊技状態とは異なる第 4 遊技状態又は前記第 1 遊技状態に移行させることが可能な第 3 移行手段を備えていることを特徴とする。

40